



# 営農経済トピック 臨時号

No.700-1(2022.1.20)

台風や低温、高温等により農作物・農業施設等への影響が心配される際は臨時号として発信しています。

## 降雪に対する農作物等の技術対策について

群馬県農政部技術支援課より、標記の件について連絡がありましたのでお知らせします。

気象庁が発表した「向こう3か月の天候の見通し(1～3月)」では、ラニーニャ現象の影響で、西日本以南を中心に寒気の影響を受けやすく、気温は西日本と沖縄・奄美で低く、降雪量は、西日本日本海側で多い見込みとなっています。

東日本における向こう3か月の平均気温、降水量は、ほぼ平年並みの見込みとなっていますが、来週、24～25日にかけては、南岸低気圧が通過するため、平野部で降雪の可能性がります。

今後も、気象情報に注意しながら、雪害の恐れがある場合には、別紙の事項に注意して十分な対策を行ってください。

### 「人命第一」

降雪中や降雪後にハウス内へ入ることは、ハウス倒壊の恐れがあるので大変危険です。

また、農業用施設で雪下ろし作業等を行う場合は、転落等の危険性があるため複数で作業するとともに、充分注意を払いましょう。

詳細は別途資料をご覧ください